

# 会 議 録

## 令和6年度 第2回藤沢市子ども・子育て会議

開催日時	2024年（令和6年）11月8日（金）14：00～15：38
開催場所	藤沢市役所本庁舎5階 5-1会議室
出席者	委員22名（うち、職員1名） 澁谷委員長、金子委員、齋藤委員、戸倉委員、森委員、大竹委員、 堀部委員、田中委員、松尾委員、竹村委員、鬼塚委員、坂本（結）委員、 寶川委員、井本委員、稲葉委員、野際委員、小沼委員、 坂本（陽）委員、鈴木委員、相馬委員、高橋委員、三ツ井委員 事務局27名 子育て企画課（吉原参事、三膳主幹、田淵課長補佐、佐藤課長補佐、 天川課長補佐、山中主査、中野主任、齋藤（太）職員） 子ども家庭課（原田課長、大庭課長補佐、金子課長補佐、 齋藤（秀）課長補佐） 保育課（高田参事、作井主幹、田遠主幹、山中課長補佐、福岡課長補佐、 小峰課長補佐） 子育て給付課（寒河江課長、鶴井課長補佐、坪井課長補佐） 青少年課（齋藤（康）課長、西崎課長補佐、小澤課長補佐） 健康づくり課（神谷参事、中村主幹、上林課長補佐）
欠席者	委員2名

---

### 内 容

- 1 開 会
- 2 議 事

(1) (仮称) 藤沢市子ども・若者共育計画素案について

- 3 報 告

(1) 「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市子ども共育計画」掲載事業の取組状況に関する継続調査について

(2) 大学生と考えるこどもまんなかワークショップについて

#### 4 その他

### 1 開 会

○事務局（子育て企画課）

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第2回藤沢市子ども・子育て会議を始めたいと思います。

改めまして、皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。進行をさせていただきます藤沢市子育て企画課の三膳と申します。よろしくお願いたします。

まず初めに、本日の議題に入る前に、次第の裏面に名簿がございますが、名簿の7番、笹原信吾委員、名簿の23番、横山雄一委員から欠席のご連絡をいただいております。また、名簿の2番、齋藤勤委員、6番、堀部恵委員、8番、田中和也委員からは、途中退出とのご連絡をいただいております。

現時点で委員24名中22名のご出席をいただいていることから、藤沢市子ども・子育て会議条例第7条第2項「会議は委員の半数以上の出席がなければ、会議を開催することができない」との条件を満たしておりますので、本日の会議が成立することをご報告いたします。

なお、名簿の2番、齋藤勤委員、10番、竹村裕幸委員、15番、井本園江委員につきましては、ZOOMでご参加いただいております。

続きまして、本日使用する資料を確認させていただきます。お手元の机上に配付させていただいたものになりますが、会議次第、資料1-0、1-1、1-2、1-3、あと「議題1参考」として「(仮称)藤沢市子ども・若者共育計画(素案)計画体系 事業一覧」、資料2-1、2-2、資料3-1、3-2、資料4、そして計画素案に対する「意見・質問票」のペラの計12点、また、いつも皆様にお持ちいただきますようお願いしております「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」と「藤沢市子ども共育計画」の計画冊子の2点の合計14点になります。

不足等ございましたら、事務局にお申し出願いたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。——ありがとうございます。

次に、会議の進行についてですが、会議録の作成を事業者に依頼していることから、速記者が同席しております。事務局がマイクをお持ちいたしますので、会議中ご発言の際にはマイクを通じてお願いいたします。

あわせて、ZOOMでの録画もさせていただきますので、ご了承ください。

また、本日オンラインでご参加いただいている委員の皆様につきましては、原則、音声をオフにして会議にご参加ください。ご発言の際は音声をオンにした上でご発声いただければと思います。

また、本日子ども計画策定支援業務の受託事業者である株式会社浜銀総合研究所の研究員がZOOMで参加しておりますので、ご了承ください。

最後に、本日の会議の情報公開の取り扱いについてご案内します。

本日の会議でございますが、この会議は地方自治法の規定に基づく市の附属機関に位置づけられており、藤沢市情報公開条例第30条の規定において、会議は公開することとされておりますが、次第2「議事」の(1)につきましては、藤沢市情報公開条例第6条第3号に規定する実施機関内部での審議に関する情報であって、公開することにより、率直な意見の交換が損なわれるおそれがあるものであることから、同条例第30条第2号の規定に該当するため、非公開としたいと考えております。

また、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱第6条の規定に基づき、会議資料のうち、資料1-0、1-1、1-2、1-3、「議題1参考」の5点につきましては、非公開としたいと考えておりますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

#### ○事務局（子育て企画課）

ご異議ございませんので、本日の会議は一部非公開という形で進めさせていただきたいと思っております。

なお、お手元の資料1-2ですが、本日この会議室でご参加いただいている方につきましては、委員会終了後に回収させていただきたいと思っておりますので、お帰りの際は、机の上に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。その他、ZOOM等でご参加の皆様につきましては、次回、第3回会議の際に回収させていただきたいと思っておりますので、それまではお手元で保管いただき、外部への公表はお控えくださいますようお願いいたします。

いたします。

本日は、傍聴者の方はいらっしゃいません。

それでは、この後の進行については澁谷委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2 議 事

### (1) (仮称) 藤沢市子ども・若者共育計画素案について

非公開

## 3 報 告

### (1) 「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市子ども共育計画」掲載事業の取組状況に関する継続調査について

#### ○澁谷委員長

次に、3「報告」の(1)『第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画』及び『藤沢市子ども共育計画』掲載事業の取組状況に関する継続調査について、ご説明をお願いいたします。

#### ○事務局(子育て企画課)

次に、報告(1)『第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画』及び『藤沢市子ども共育計画』掲載事業の取組状況に関する継続調査について、ご説明させていただきます。子育て企画課の齊藤と申します。

資料2-1をお手元にご用意ください。

ページ番号を振ってなくて恐縮ですが、本資料では、第1回子ども・子育て会議にてご報告いたしました第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画の掲載事業の達成状況のうち、ご指摘のありましたC評価の事業につきまして、事業所管課に確認した評価理由等をご報告いたします。

まず、1枚目の裏、2ページ目をご覧ください。このページでは、第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画に掲げた掲載事業の令和5年度の達成状況について、所管課に評価理由を確認しましたところ、評価を変更した事業がございますので、変更のある部分を網かけにしてお示ししております。

変更後は、基本目標2「親子の健康の確保及び増進」のB評価が12件で67%、C評

価が1件で6%になっております。その変更に伴って、合計のB評価が61件で全体の51%、C評価が1件で全体の1%となっております。ページが戻ってしまっていて恐縮ですが、変更前の令和5年度の達成状況を1ページ目に掲載しております。

続きまして、4ページ目をご覧ください。このページでは、令和2年度から6年度の達成状況について、変更のあった部分に網かけをしてお示ししております。

変更後は、基本目標2「親子の健康の確保及び増進」のB評価が13件で72%、C評価が1件で6%となっております。その変更に伴い、合計のB評価が66件で全体の55%、C評価が1件で全体の1%となっております。こちらにつきましても、3ページ目に変更前のものをお示ししております。

最後の5ページ目にお移りいただきたいと思っております。このページでは、C評価となっていた事業の所管課に確認した評価理由をお示ししております。

評価理由の列にお示ししているのですが、事業の達成状況につきまして、68番、療育医療給付事業がC評価からB評価に変更となっております。詳しい評価理由につきましては、網かけになっております評価理由の欄をご覧ください。

以上で資料2-1についてのご説明を終わらせていただきます。

あと、お手元の机上に配付させていただいたA3用紙の資料2-2につきましても、第1回子ども・子育て会議で配付いたしました資料の差しかえ用となっております。達成状況をまとめた表と、各事業の達成状況につきまして、変更を反映したものとなっておりますので、差しかえをお願いいたします。

続きまして、藤沢市子ども共育計画に移らせていただきます。お手元に資料3-1をご用意ください。

こちらは先ほどの子ども・子育て支援事業計画と構成は一緒なんですけれども、2ページ目をご覧くださいと、また網かけにして表にお示ししております。こちらも事業の所管課に評価理由を確認いたしましたところ、変更となったものについて網かけをしております。

変更後は基本目標1「気づく・受けとめる・必要な支援につなぐ」のB評価が17件で55%、C評価が1件で3%となっております。また、基本目標2「子どもの医療や障がいに関する相談・支援を充実する」のB評価が4件で25%、C評価が0件で0%となっております。基本目標3「暮らしや子育てを支援する」のB評価が8件で36%、C評価が0件で0%となっております。

それらの変更に伴い、合計のB評価が47件で44%、C評価が2件で全体の2%となっております。こちらにつきましても、1ページ目が令和5年度の変更前の達成状況となっております。

続きまして、4ページ目をご覧ください。このページでは、共育計画の令和2年度から令和6年度の達成状況について、変更を網かけにてお示ししております。

基本目標1「気づく・受けとめる・必要な支援につなぐ」のB評価が19件で61%、C評価が1件で3%となっております。また、基本目標2「子どもの医療や障がいに関する相談・支援を充実する」のB評価が4件で25%、C評価が0件で0%となっております。基本目標3「暮らしや子育てを支援する」のB評価が8件で36%、C評価が0件で0%となっております。

それらの変更に伴い、合計のB評価が51件で全体の47%、C評価が2件で全体の2%となっております。こちらにつきましては、1ページ前の3ページ目に、令和2年度から令和6年度の変更前のものをお示ししております。

最後に、5ページ目をご覧ください。このページでは、C評価となっていた事業の所管課に確認した評価理由をお示ししております。

事業の達成状況につきましては、再掲も含みまして、31番の「障がい者相談支援事業」及び55番の「難病対策事業」につきましては、C評価からB評価に変更となっております。それらの詳しい評価理由につきましては、網かけとなっております評価理由の欄をご覧ください。

以上で資料3-1についての説明を終わらせていただきます。

こちらにつきましても、先ほどと同様、資料3-2のA3の大きいものにつきましては、1回目に配付いたしました資料の差しかえ用となっております。差しかえをお願いいたします。

以上で報告(1)『第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画』及び『藤沢市子ども共育計画』掲載事業の取組状況に関する継続調査についてのご説明を終わらせていただきます。

○澁谷委員長

ここで一旦報告を切らせていただいて、今の(1)につきまして、何かご質問あるいはご意見ございますでしょうか。こちらはご説明どおりということではよろしゅうございますか。

では、特段ないようですので、報告の1点目は承ったということです。

## (2) 大学生と考えるこどもまんなかワークショップについて

### ○澁谷委員長

次に、報告(2)藤沢市「大学生と考えるこどもまんなかワークショップ」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

### ○事務局(子育て企画課)

子育て企画課の中野と申します。

私からは「大学生と考えるこどもまんなかワークショップについて」、ご説明させていただきます。

まず、資料4をお手元にご準備ください。こちらは「大学生と考えるこどもまんなかワークショップ」と題しまして、8月24日(土)に開催いたしましたワークショップの実施結果の報告資料となっております。

2ページをご覧ください。こちらには「ワークショップの開催概要」を記載させていただいております。

まず、「実施の目的」につきましては、藤沢市のこども・若者に関わる参加者が、大学生やほかの参加者との対話を通して、こどもまんなかの取り組みを広げていくための具体的な仕組みや取り組みを検討していただき、今後こどもの意見反映を実施していくための参考情報を得ることを目的として実施をさせていただきました。

タイトルは、先ほどお伝えしましたとおり、「大学生と考えるこどもまんなかワークショップ」です。

参加の対象といたしましては、「こども・若者に関わる市内在住者を対象」と設定させていただきました。参加については、人数の把握を目的としまして、事前の申し込み制とさせていただきます、広報「ふじさわ」や市の公式LINE、ホームページ等で告知をいたしました。合計23名のお申し込みがあり、うち14名の方にご参加いただきました。

次に、3ページをご覧ください。ここからは「ワークショップ実施報告」となります。

ワークショップ当日は3部構成で開催させていただきました。第1部は「こどもまんなかに向けた市内の取組」の紹介、第2部は「ワークショップ」、第3部は参加者交流会という流れで実施をいたしました。

まず、第1部といたしましては、「こどもまんなかに向けた市内の取組」として、第2

部「ワークショップ」での意見交換の前提となる知識を共有していただくことを目的として、こども基本法やこどもの意見反映についての説明を行わせていただきました。

次に、4ページにお移りください。

続いて、市内の取り組みの紹介として、昨年度、子育て企画課で実施いたしました「子ども・若者の意見表明を考えるワークショップ」での意見であったり、子ども・若者や子育て家庭とふだんから接している支援者に対して実施をいたしました支援者ヒアリング調査で把握した「意見を聞くときのポイント」等を紹介させていただき、参加者同士で、聞いた印象であったり、感想を共有していただきました。

第1部で踏まえた前提知識をもとに、第2部のワークショップでは、席がえをしつつ、参加者との組み合わせを変えながら、小グループで話し合いをしていく「ワールドカフェ方式」という方式を用いて、大学生のインターンシップ生がファシリテーターとなって、5つのグループでポストイットを使い、意見交換をしていただきました。

次に、5ページをご覧ください。

グループでの対話は3つのテーマに沿って検討をしていただきました。1つ目は、「対話1：あなたがこどもと接している現場で、こども・若者の意見を取り入れる仕組み（例えばこども主体で企画、運営する活動）はありますか？」。2つ目は「対話2：市内に『こどもまんなか』の場を増やすために、あなただったら何をしますか？」。最後に、「対話3：『こどもまんなか』の場を藤沢市全体に広げるために、どんな連携や市全域の取組、仕組みが有効だと思いますか？」。この3つのテーマに対して、席がえをしつつ、対話の相手を変えながら対話をしていただき、最後に出たアイデアに対して、グループごとに「藤沢市全体にこどもまんなかの場を増やすアイデア」として効果が高いものに投票していただき、投票数の多かったアイデアを中心に、全体に向けた発表をグループごとに行いました。

次に、6ページをご覧ください。

こちらは「こどもまんなかの場を広げるためのアイデア」として、各グループで出してもらったポストイットを、各テーマごとに分類したものになります。「こども・若者の意見聴取全般に関すること」、「地域の活動に関すること」、「学校の活動に関すること」、「その他」として、大まかに分類をさせていただいております。こちらは6ページから9ページにかかるものでございますので、後でご覧いただければと思います。

10ページ以降は、参加者の皆様にご回答いただきましたアンケート結果を掲載してお

ります。こちらも後ほどご一読いただけますと幸いです。

最後に、このワークショップにご参加いただきました委員の方から、ご感想などをいただければと考えております。金子委員、坂本陽香委員、小沼委員の順でお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

#### ○澁谷委員長

では、今ご指名のあった順で、少しご感想等いただければと思います。

#### ○金子委員

青少年指導員の金子でございます。

初めてこういうワークショップに参加させていただいたので、どんなことをするのかという感じで、ちょっとドキドキしながら参加させてもらったんですけども、事務局の方も学生さんもとても熱心で、事前準備もとても丁寧に時間をかけてやられたんだという印象を受けました。

テーマが少し漠然としたところもあったので、具体的なものとしてこれという答えがなかなか出しにくかったんですけども、一般公募で集まった皆さんも子どもと接することがお好きな方で、それぞれの方がいろいろな思いを持って参加されているんだということが印象的でした。学生さんがすごく熱心で、真摯に前向きに活動されているのがとても印象的でした。ありがとうございました。

#### ○坂本（陽）委員

市民委員の坂本陽香です。

私は一公募の枠で参加させていただいたんですが、やはり大学生の身として、自分の考えを発信する場とか、地域の方々とこういうことについて考える機会がなかなかなかったからこそ、同じ興味を持った方々と一緒に話し合う機会を設けていただけたことは、私自身もすごく学びになりました。また、自分自身が子どもとかかわる機会が多くて、小学校や幼稚園でボランティアをしているのですが、そういった中で、自分自身の活動がどう影響を与えられているのかということ言語化する機会になったなと思っていて、自分自身がその後そういう活動をしていく中で、どういう立ち回りをするのかとか、どういうことを相手が求めているのかということを考えるきっかけになったなと思います。ありがとうございました。

#### ○小沼委員

市民委員の小沼です。

私も参加する前は、正直、若者、学生さんも優等生の教科書的な発言をするような会なのかななどと思って参加したんですけれども、実際は本当に気さくに若者たちと話ができ、とてもいい会だったなと思いました。

特に学生さんと話をしている、「大人がいるとなぜ意見が言えないのかしら」という問いを私が投げたときに、彼らは、意見を言葉にするまでに時間がかかってしまうとか、あと、大人が機嫌が悪くならないような言い方を考えてしまうとか、私自身も不登校のサポートをしている者の1人なので、すごく参考になりました。実際、言語化することにまだ慣れていないので、ただただ時間がかかったりするんだなと思って、私も焦って意見を求めることをしないで、ゆっくり若者とかわっていきいたいなと思いました。

あと、最後の交流の時間は、お菓子も用意していただいて、とても楽しかったんですね。ただ、予定でも記載があるように、20分ぐらいで本当に時間がなくて、もう少しその時間があったら、もっと楽しかったなと思いました。ただ、1時から4時まで全体で3時間ぐらいで、ぐったり疲れていたというのもあって、これ以上長くするのはきついで、もう少し前半をぎゅっとして、交流のところをもう少し長くできたらよかったなと思います。

大分前の話で、今久しぶりにアンケート結果とか見返してみても、思い出してきたのですが、あのときも本当に一生懸命課題を出して、その後アイデアを出して、解決していこうということを順番にやっていったのですが、そこですっかり終わっていたのです。少しでもできるところを何か形にするようなことをしていかないと、学生さんもせっかくあれだけ時間をつくってやってきているので、次回やったときに、またアイデアを出して、それで終わりなんではというみたいなことにならないように、本当に小さなことでも、できることから次に何か形にしていく動きができたらいいなと、きょう振り返って思いました。

#### ○澁谷委員長

こどもまんなかワークショップということでご参加、ご協力いただいた方々にまず感謝申し上げたいと思います。

せっかくですので、委員の皆さんから、こんなことも聞いてみたいとかあれば、いかがでしょうか。

フィードバックをどうしたらいいかについては当日何か意見がありましたかね。今、小沼委員からご指摘いただいたように、アイデアを聞いて、参考にしますとあって、それで終わってしまうというような形だけの参画は今までもあったので、そこでどう返していく

かというのはすごく大事になるかなと思います。どういうふうな形でフィードバックしたら伝わりやすいとか、そのあたりは参加している中で、何か意見がありましたか。特段、意見としてはなかったですか。そこはこの会議体としても考えないといけないかなとは思っています。

#### ○事務局（子育て企画課）

ご意見ありがとうございます。我々も今回ワークショップをやらせていただいて、昨年度もやらせていただいているところではあるのですが、全く同じで、フィードバックの仕方とか、実際に出た意見をどう具体化するのか。例えばイベントとか、どういったところで意見を聞いていったほうがいいよねとか、そういった部分を実際にやっていくフェーズを今後つくっていかないといけないなとは思っています。

実際に今回のワークショップの流れの部分とか、受けたご意見とか、あと、例えば地域での取り組みに子どもの意見をみたいの部分もご意見として賜っています。そういったところをこれから計画の中に載せていく事業で、我々も「子ども・若者の意見聴取」というところを入れてまいりますので、そちらとか、子どもの権利条約の啓発の中でも、地域のほうに開いていくというか、我々も出向いて行って、そういった説明をやっていく中で、実現可能なものを探していくことが必要になるのかなとは考えています。

また大学生も、今回インターンシップで参加していただいた子たちからも、こういった事業を今後やっていきたいといったご提案もいただいております。そういった中で、事業実施に向けて継続してやれるものを今確認して検討しているところですので、またその内容をこの会議の中にフィードバックという形でできればよいのかなとは考えています。今後ともよろしく願いいたします。

#### ○澁谷委員長

わかりました。そのあたりを丁寧につくっていくことも今大事な時期になっているかなと思います。ありがとうございます。

この件につきましていかがでしょうか。——よろしいですか。

特段ご意見、ご感想がないようでしたら、こちらを報告として伺った上で、きちんと次につなげていくという確認もできたかと思います。引き続きさまざまな形で、ここで話し合ったことを伝えて、またこんな事業が欲しいというのも聞き取っていただいたということなので、そのあたりもしっかり反映して、こんなふうに反映したよというのを、どんな形で出したらいいのかなというの、いろんな意見をいただければと思います。

では、報告事項は以上でよろしいでしょうか。

#### 4 その他

##### ○澁谷委員長

最後に、次第4「その他」です。

まず、委員の皆様から、全体に周知をすとか、何かございますか。

ないようでしたら、最後に、事務局から事務連絡があればお願いいたします。

##### ○事務局（子育て企画課）

本日はお忙しい中、藤沢市子ども・子育て会議にご出席いただき、ありがとうございます。

会議冒頭でご案内いたしましたが、資料1-2については回収させていただきますので、机の上に置いてお帰りくださいますようお願いいたします。

あわせて、机の上に配付いたしました計画素案に対する「意見・質問票」という紙があるかと思えます。そちらについてはご記入いただいたものをメールまたはファクスでご提出いただくか、資料事前送付のメールに添付いたしましたエクセルファイルにご記入いただいて、メールにてご提出いただいても大丈夫です。ご意見等がある方は11月18日（月）までにご提出ください。

次に、次回の会議日程をお知らせいたします。次第の中ほどの「次回会議日程」に日にちを記載しておりますが、次回、第3回会議は1月31日（金）の午後からを予定しております。よろしくようお願いいたします。

最後に、本日、駐車券をお持ちの方がいらっしゃいましたら、会議終了後、事務局の山中までお持ちくださいますようお願いいたします。

##### ○澁谷委員長

これで本日の日程は全て終了いたしました。本日は速やかな進行へのご協力ありがとうございました。

以上